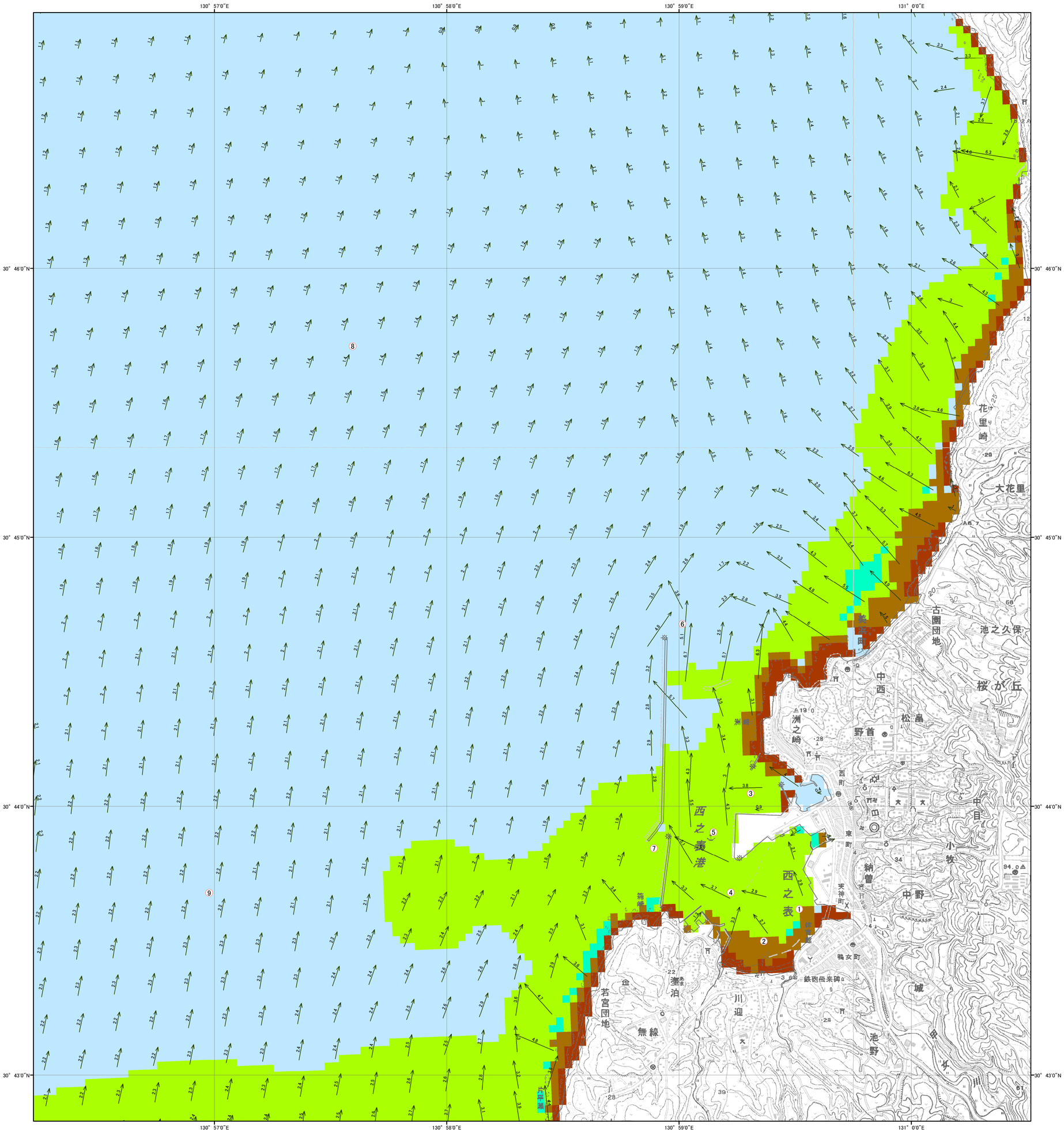
西之表港 津波防災情報図 （引潮図）

計算条件：最低水面（零位）
隆起量　：平均 -16cm(-17cm ～ -15cm)
Zo　　：1.20m
備考　　：　本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



N
W E
S

1:12,000

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）

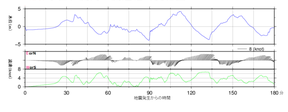
凡例

最大水位低下

- 3～最大3.5m
- 2～3m
- 0.5～2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

No. 経時変化図出力点
（図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。）

(例)水位、流向・流速経時変化図

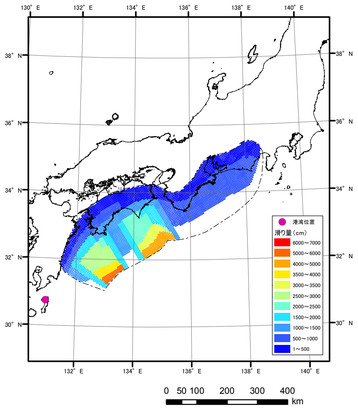


引潮時最大流〔knot〕

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



ケース⑪「室戸岬沖と日向灘に『大すべり域＋超大すべり域』」

断層面積 S(km²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.6 X 10^{22}
平均すべり量 D (m)	11.2
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成２４年８月２９日発表）」により公表されたものである。
使用した断層モデルは、内閣府より公表された１１ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

0　500　1,000　2,000　3,000　4,000
m

○ 本図の作成にあたっては、”津波解析支援GISシステム（ArcGIS 10 対応）”を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基盤地図情報5mメッシュ（標高）・10mメッシュ（標高）、及び数値地図25000（地図画像）
（国土地理院発行　国土地理院長承認　承認番号　平24情使、　第911号　平成25年3月29日）